

テーマ別コーポレート戦略セミナー(2025年度 第6回)
最近の不祥事案における危機管理と不正調査について
【対面・Zoom オンライン開催】

近年、多くの企業で不祥事の公表が相次ぎ、社会的注目を集める事案も少なくありません。適切な危機管理や迅速な調査対応が企業の信頼維持に不可欠となる中、現場では難しい舵取りが求められます。

そこで、豊富な実務経験を有する中村直人弁護士を講師にお迎えし、危機管理における実践的な留意点や調査対応の進め方について、具体的な事例を交えながらわかりやすく解説いただくセミナーを開催します。平時の今こそ確認しておくべき要点を整理し、万一の備えとして本講座をご活用くださいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 2025年12月8日(月)15:00~17:00
2. 講 師 中村法律事務所 中村 直人 弁護士
3. テーマ 「最近の不祥事案における危機管理と不正調査について」(役員向け)

<具体的なセミナー内容(予定)>

- 1) 最近の企業不祥事の特徴
 - ・「不正のトライアングル」理論の限界と新しい対応
 - ・内部通報されない不正類型とその対応
 - ・広報、記者会見での失敗事例と危機管理広報のスタンス
 - ・人権に係る不祥事と壊滅的ダメージの時代
- 2) 組織的不正への対応
 - ・品質偽装、独禁法違反、不正請求等は組織的不正
 - ・組織不正のリスクのある業務フローの洗い出しと監査手法
 - ・内部監査手法の進展と実務の対応
 - ～準拠性監査からの発展
 - ・企業風土の定期的観測と対応
- 3) 不祥事案の認知と調査体制の最新の留意点
 - ・早期の社外役員への伝達
 - ～不祥事はガバナンス問題に
 - ・誰が調査すべきか

- ～取締役会事務局の立ち位置問題
- ・社外役員の不祥事案の対応
- 4) 情報入手ルートの再点検
 - ・報告義務の体系整備と実効化
 - ～報告義務の規定は全く意識されていない
 - ・報告義務は報告を受けた者の義務
- 5) その他
 - ・恒常的に発生する不祥事とコンプライアンスへの反映
 - ・人事評価要素とコンプライアンス
 - ～減点事由から加点事由に
 - ・コンプライアンスにかかる時間・コストの見える化
 - ・3線ディフェンスは何故機能しないのか
 - ・Z世代とコンプライアンス意識の変化など

4. 参加費 1名 19,800 円 (本体 18,000 円+10%消費税 1,800 円)
※請求書は申込締切日以降に参加者またはご指定の宛先にお送りします
5. 申込締切日 11月28日(金)
6. 会場選択・お申込 対面会場 または Zoom オンライン
※お申込みは会場別のお申込みフォームにアクセスし、必要事項をご記入ください。
 - (1) 対面会場 経団連会館 5階 502号室(定員32名)
⇒対面会場参加のお申込みは <https://e-ve.event-form.jp/event/115919/MWb3YaZz>
 - (2) Zoomオンライン セミナー1週間前を目途に登録用URLをお知らせします
⇒オンライン参加のお申込みは <https://e-ve.event-form.jp/event/115920/MWb3YaZz>

※対面会場が満席の場合は、オンライン参加をご検討ください

※貴社のセキュリティ上、上記URLでご登録いただけない場合、参加希望の旨、下記連絡先へ E-mail 願います

※申込締切日を過ぎてのお取消しは、参加費全額を申し受けます(配布資料はお送りいたします)

